川越初雁公園整備の見直し　さらなる起爆剤に？！

川越初雁公園。旧本丸御殿、初雁球場、市営プールなどで市民の憩いの場だが、老朽化が激しい。隣接は県立川越高校だ。

１９８９年に整備基本構想が描かれていたが、費用が莫大な数字になることからそのままにされていた。ここで２８年ぶりに計画を見直すこととなった。

球場は移転する方向。２０２０年東京五輪（ゴルフ競技は霞ヶ関カンツリーで）や２０２２年の川越市制施行１００年の節目など観光客の増加が期待されるなか、「川越らしさ」を全面に出した公園整備が望まれるところだ。今後の行政の発信に注視していきたい。